

科目名	資格対策講座 1								年度	2024	
英語科目名	Qualification Prep Lecture 1								学期	通年	
学科・学年	デザイン科	プロダクトデザイン専攻	1 年次	必／選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	高井 麻里				教員の実務経験		有	実務経験の職種		インテリア コーディネーター	
【科目の目的】											
デザインに必要な要素である色について学ぶことをベースに色彩検定3級を合格することを目標とする。色彩に関する基礎知識を学び、広く一般的な色彩の実用例を交えながら、色の効用を身につける。											
【科目の概要】											
テキストに沿って、プリントを使いながら、色の基礎を学んでいく。同時に過去問題を解くことで、実践的な試験対策を行う。授業では講義を受けながら、テーマに沿った内容をまとめたレジュメの小問を解いていく。講義範囲の復習を兼ねた課題を出す。											
【到達目標】											
目標A：色彩の基礎を学び、見え方や仕組みまで理解する 目標B：色彩の心理と調和、配色テクニックと生活における色彩を理解する 目標C：色彩検定3級取得出来る知識を習得する											
【授業の注意点】											
指定されたテキストとカラーカードを準備すること。授業では問題を解くので間違えた問題の復習をしておくこと。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。集中して受講のうえ、必ず復習を兼ねて宿題を仕上げて講義に臨むこと。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価	レベル5 優れている				レベル3 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標 A	色彩の基礎を学び、見え方や仕組みまで深く理解している				色彩の基礎を学び、見え方や仕組みまで理解している				色彩の基礎を学び、見え方や仕組みまで理解できない		
到達目標 B	色彩の心理と調和、配色テクニックと生活における色彩を深く理解している				色彩の心理と調和、配色テクニックと生活における色彩を理解している				色彩の心理と調和、配色テクニックと生活における色彩を理解できない		
到達目標 C	過去問題などを通じて色彩検定3級取得出来る知識を習得している				色彩検定3級取得は難しいが、知識は習得している				色彩検定3級取得は難しく、まだまだ努力が必要である。		
【教科書】											
参考書・カラーカードは事前に準備の事。											
【参考資料】											
オリジナルのレジュメ配布。授業ごとに配布する。											
【成績の評価方法・評価基準】											
試験・課題 60% 講義後の検定結果も評価に入れる 提出物 30% 授業内容の理解度を確認するために実施する 平常点 10% 出席日数・授業に取り組む態度によって評価する											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

科目名		資格対策講座 1				年度	2024
英語表記		Qualification Prep Lecture 1				学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	検定概要／色彩の基礎	検定概要と色彩概念の把握	1	検定ガイダンス	色彩検定に関して理解している	2	
			2	色彩の概念について	色彩の概念に対して理解している		
			3	色相環・トーン作成	色相環・トーンに関して理解して、表を作成できる		
2	色名の表示と見え方	色の見え方と仕組みを学習	1	色の見え方	色の見え方について理解している	2	
			2	眼の仕組み	眼の仕組みについて理解している		
			3	混色(コンシヨク)の種類(シヨク)	混色の種類について理解している		
3	色彩心理	色彩心理と対比を学習	1	第1回・第2回復習	第1回と2回の授業について理解している	1	
			2	色彩心理	色彩心理について理解している		
			3	色彩の対比と錯覚	色彩の対比と錯覚について理解している		
4	色彩調和	配色の種類と内容を学習	1	配色の基本	配色について理解している	2	
			2	色相配色	色相配色について理解している		
			3	トーン配色	トーン配色について理解している		
5	配色テクニック	配色方法とイメージを学習	1	第3回・第4回復習	第3回と第4回の授業について理解している	1	
			2	配色テクニック	配色テクニックについて理解している		
			3	配色イメージ	配色イメージについて理解している		
6	生活における色彩	日常の実際的な配色を学習	1	ファッションの配色	ファッションの配色について理解している	1	
			2	インテリアの配色	インテリアの配色について理解している		
			3	テキスト模擬試験	模擬試験を通じて色彩検定の試験の対策が練られている		
7	本番対策～過去問の解説／重要事項の再確認	重要事項と解答の仕方を習得	1	第5回・第6回復習	第5回と第6回の授業について理解している	1	
			2	過去問解説	過去問題を通じて問題傾向を理解している		
			3	重要ポイント確認	色彩試験の重要ポイントを理解している		
8	本番対策～過去問の解説／重要事項の再確認	検定時間配分と重要点再確認	1	過去問解説	過去問題を通じて問題傾向を理解している	1	
			2	過去問解説	過去問題を通じて問題傾向を理解している		
			3	重要ポイント確認	色彩試験の重要ポイントを理解している		
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

評価方法：1. 小テスト、2. 授業態度・パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったく

備考 等